

建設現場におけるクラスターの発生について（第1報）

令和3年8月15日（日）、本市内の建設現場において、喫煙や昼食時に会話するなどして感染が拡がり、クラスターが発生しました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・8月8日（日）、建設現場の従業員1名が体調不良のため、医療機関を受診し、PCR検査を受検したところ、令和3年8月10日（火）、陽性が確認されました。
- ・また、8月11日（水）、同建設現場の従業員2名が体調不良のため、医療機関を受診し、PCR検査を受検したところ、翌日までに、両名の陽性が確認されました。
- ・このため、患者と接触の可能性のあった同建設現場の従業員2名が、PCR検査を受検したところ、8月14日（土）までに、両名の陽性が確認されました。

結果判明日	人数	公表日
8月10日	1名	8月11日
8月11日	1名	8月12日
8月12日	2名	8月13日
8月14日	1名	8月15日

- ・患者のうち、4名は宿泊療養施設で療養し、1名は感染症指定医療機関等に入院しています。
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はありませんが、1名は県外への往来があります。

2 患者概要

(1) 年代

区分	30代	40代	50代	計
従業員	2	1	2	5

(2) 居住地

広島市

(3) 症状

軽症